

新任期 (昭和20～29)

音楽の真髓を伝えた 教師と生徒たちの軌跡

新7回生 吉田榮一

生内義夫先生 在籍期間
昭和23・4～29・11 音楽
故人
水原 一先生 在籍期間
昭和22・4～24・4 国語
駒沢大学名誉教授
昭和24年 岩手フィルハー
モニックソサイテイ結成

岩手高校、岩手女子高校音
楽部合同
昭和24・4・18 水原一先生
離任式
昭和24・5・30 岩手県主催
第3回岩手芸術祭参加 生
内義夫新作カンタータ「北
上川」発表 (県公会堂)
昭和24 岩手フィルハーモ
ニックソサイテイ主催「第
一回生内義夫作品発表会」
(資料不明)
昭和25・2・7 交声曲三部
作「岩手山」「北上川」「三
陸海岸」生内義夫指揮 三
神昭子伴奏
岩手フィルハーモニックソ
サイテイ出演によりJQQ

Gローカルタイムに東北六
県向けに放送された。
昭和26・6 雫石町大火、生
内義夫先生自宅全焼により
帰省。その前後に祖父と叔
父、12月に父を失うなどの
不幸が重なる。
昭和26・6 岩手フィルハ
ーモニックソサイテイ主催
「雫石救済音楽会」に生内先
生を招待。先生指揮により
交声曲三部作発表、雫石町
に収益を寄付。
昭和26・10 生内義夫作曲
「ヴァイオリン・ソナタ」発
表 (国立音楽大学講堂)
昭和26・11・4 岩中・岩高
創立25周年記念祝典カンタ
ータ発表
生内義夫指揮 岩手高校
グリーククラブ男声合唱
(岩手高校講堂)
昭和27・1・20 岩手フィル
ハーモニックソサイテイ主催
「第二回生内義夫作品発表会」

第1部 交声曲「平和」
第2部 交声曲「岩手山」
学生歌 (ドイツ民謡)
「ヴァイオリン・ソナタ」
賛助出演 バリトン独唱
清水義人 ピアノ内田弘
ヴァイオリン阿部昭吾
(県公会堂)

昭和28・11・9 岩手フィル
ハーモニックソサイテイ主催
「国立音楽大学室内楽団演
奏会」
生内義夫指揮 岩手大
学、岩手女子高校、岩手
高校合計約60名による交
声曲「岩手山」合唱出演
(県公会堂)

(昭和28・12・10発行 石桜新
聞第25号 記事)

※交声曲三部作 JQQC
岩手県下放送予定 S28・
12・15

出演 岩手大学、岩手女
子高校、岩手高校

※参考資料

第2回生内義夫作品発表会
資料

会誌石桜 48号 (創立25年
特集、音楽部報)、同49号
(音楽部報)

石桜新聞 創刊号、25号

石桜70年誌